

第2回市民啓発部会を開催しました



○10月6日（金）に第2回市民啓発部会を開催しました。参加者は、部会メンバー7人、上越地域在宅医療推進センター1人と事務局4人の12人でした。

○今回の議題

- (1) なぜ市民啓発部会の活動は必要なのか
- (2) リーフレットの使用状況について
 - ・各委員のリーフレットの活用状況
- (3) 3年後の具体的な目標について
 - ・市民にどうなってほしいのか
 - ・専門職にどうなってほしいのか

以上について、検討を行うとともに、人生会議を自分事として考えるため、まずは委員同士でもしバナゲームを行いました。

○部会での検討事項等

- (1) なぜ市民啓発部会の活動は必要なのか
 - ・認知症の独居の方や身寄りがあっても終末期の対応が決まっていないことがある。
 - ・本人や家族の意思が尊重されない場合がある。

等の支援する中でのエピソードを共有し、自分らしい暮らしや最期を迎えるために、自身の今後について考えるきっかけ作りを行っていくことの必要性について、改めて共有しました。

(2) リーフレットの使用状況について

- ・現段階では活用まで至っている委員は少ない。今後も、リーフレットの活用を進め、職能団体にも広めていく必要がある。
- ・リーフレットを渡す際にメッセージを加えると理解しやすく、普及効果が高まる。

(3) 3年後の具体的な目標について

①「市民にどうなってほしいのか」への意見等

- ・人生会議を知っている人が少ないので、まずは知ってもらうことが大事。
- ・ACP、人生会議という言葉が身近な存在になってほしい。
- ・知ってもらい、家族で話してもらう。などの意見を踏まえ

※「ACPがより市民の身近なものになる」

を市民向けの目標としました。

②「専門職にどうなってほしいのか」への意見等

- ・専門職としてどう確認し関わっていくか難しい。
- ・終末期の方ではなく、もっと前の段階から話を出来るようにする。
- ・市民へ話せるよう、まず自分自身が学び考えるようにする。
- ・専門職向けに研修会を実施してはどうか。などの意見を踏まえ

※「ACPを理解し、本人や家族の想いを共有する」

を専門職向けの目標としました。

○今後のスケジュール

今回は、3年間の取組内容について、それぞれの専門職の立場で持ち寄り、次年度以降の活動について検討します。

次回日程：12月14日（木）19:00～

教育プラザ 小会議室